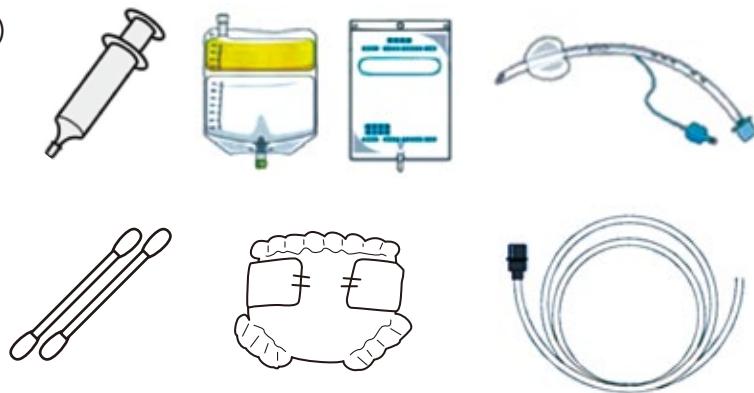


在宅医療廃棄物の出し方について

ご家庭で在宅医療をされている方は、在宅医療廃棄物を下記のとおり出してください。
在宅医療廃棄物だけを透明の袋に入れてから、その他の可燃ごみと一緒に坂出市指定収集袋に入れて、可燃ごみの日に集積場に出してください。

【在宅医療廃棄物の例】

- ・使い捨て注射器（針は取り除く）
- ・点滴バッグ
- ・脱脂綿・ガーゼ・綿棒
- ・ストーマ装具
- ・マスク・鼻カニューレ
- ・カテーテル（針は取り除く）
- ・流動食バッグ
- ・チューブ（針は取り除く）
- ・導尿用バッグ
- ・紙おむつ（汚物はトイレへ）



- ※注1 注射針等については、感染性を有しますので医療機関または薬局等へ処理を依頼してください。
- ※注2 容器にリサイクルマークが識別表示していても可燃ごみとして出してください。

可燃ごみの出し方ワンポイント

- 肉・魚・惣菜などの食品トレイやコンビニ弁当などの容器や豆腐・卵のパックなどの資源ごみ（プラスチック製容器・包装）類は資源ごみとして出しましょう。
- 紙おむつについている汚物は必ずトイレに流してから出してください。
- 灰や使い終わった花火などは、必ず水に湿らせて出してください。
- 魚のトロ箱や商品梱包の際に使われている発砲スチロールはプラマークがあっても処理施設で資源化できないので可燃ごみとして出してください。
- 新聞・ダンボール・雑誌・紙パックなどは、資源ごみ（紙類）として、出してください。
- カセットテープ・ビデオテープの本体は、中にあるテープが資源ごみ破砕機に絡まってしまうため可燃ごみ扱いとなります。

水切りについて ※ここで生ごみ処理についてもっと詳しく!!!

坂出市では年間約9,000トンの可燃ごみが家庭から搬出されています。
このうち約30%~40%は生ごみです。生ごみの水分量は約80%と言われているので、年間約2,000トンもの水分を処理していることになります。

ご家庭から排出する前に、ちょっとした工夫やひと手間かけることで…

- ・ごみの減量化
- ・腐敗・悪臭の防止
- ・焼却施設の焼却効率の向上や焼却量減少による地球温暖化防止（Co2削減）などが期待されます。また、生ごみの減少および水切りのポイントとして
- ・料理は食べる分だけ作る。
- ・食べ物を大切に、残さず食べる。
- ・水切りネットなどを使用し、ネットに入っている生ごみは、絞って乾かしてから捨てる。

1人1人の心掛け一つで、ごみは減らせます。ご協力をお願いします。